令和5年度　知立南中学校学校評価の結果について

1　確かな学力の育成について

	（生徒評価）	（保護者評価）	（教員評価）
①　先生は、生徒にわかりやすいように、工夫した授業をしている。	4　76.5%	4　64.7%	5　100.0%
	（4　73.7%）	4　63.8%	5　94.4%
	（4　73.0%）	4　70.6%	5　97.6%
	（4　60.5%）	4　66.4%	5　100.0%
	（3　56.4%）	3　57.8%	4　89.5%
②　先生は、生徒に家庭学習がしやすいように家庭学習で取り組むことを示し、きちんと指導している。	4　73.7%	3　57.9%	3　53.8%
	（4　75.8%）	4　61.3%	5　100.0%
	（4　78.2%）	4　69.7%	5　80.6%
	（4　73.0%）	4　63.9%	4　62.9%
	（4　76.1%）	3　57.3%	3　57.9%
③　（生徒）授業では、発言や発表をしようと取り組んだ。（教員）発言を促す授業づくり、発問の工夫をした。	3　51.3%		5　92.5%
	（3　49.9%）		5　100.0%
	（3　46.5%）		4　74.3%
	（3　51.9%）		4　77.1%
	（3　49.7%）		4　76.3%
総合的な評価			R5（前年度）
	3.6（3.8）		**4.3**（5.0）

2　豊かな心の育成について

	（生徒評価）	（保護者評価）	（教員評価）
④　先生は、進んで挨拶ができる生徒を育てている。	5　83.7%	4　75.8%	5　92.5%
	5　88.6%	4　77.5%	5　97.2%
	5　88.3%	5　81.8%	5　97.1%
	5　89.5%	5　71.9%	5　94.3%
	5　85.8%	4　75.9%	5　84.2%
⑤　先生は、生徒に時間や規則を守ることの大切さを指導できている。	5　86.3%	5　80.0%	5　100.0%
	5　87.0%	5　84.1%	5　97.2%
	5　87.6%	5　84.3%	5　97.1%
	5　88.4%	5　85.0%	5　97.1%
	5　88.3%	5　84.4%	5　97.4%
⑥　先生は、生徒にいじめや差別がいけないことだときちんと指導できている。	4　71.1%	4　69.5%	5　100.0%
	4　77.2%	4　73.1%	5　100.0%
	4　74.7%	4　79.6%	5　100.0%
	5　86.5%	5　84.3%	5　100.0%
	5　80.6%	4　75.6%	5　97.4%
⑦　先生は協力できる学級づくりに努めている。	4　79.2%	5　82.1%	5　89.7%
	4　78.3%	5　80.1%	5　94.4%
	5　81.9%	5　84.9%	5　91.4%
	4　70.6%	5　84.5%	5　94.3%
	4　67.3%	5　83.9%	5　86.8%
⑧　先生は、生徒に思いやりの心や命の大切さを指導できている。	5　89.5%	4　78.9%	5　100.0%
	5　90.6%	5　83.0%	5　94.4%
	5　88.9%	5　84.9%	4　77.1%

	5	84.6%	5	81.3%	5	97.1%
	5	80.8%	5	73.9%	5	89.5%
⑨ 先生は、行事を充実させ、生徒に感動体験や成就感を味わわせている。	5	87.2%	5	82.1%	5	82.1%
	5	86.2%	4	77.9%	5	100.0%
	5	87.7%	4	73.6%	5	80.0%
	5	82.3%	4	66.3%	5	82.9%
	5	88.7%	4	78.3%	5	81.6%
⑩ (生徒) 生徒会や委員会活動に積極的に取り組んだ。 (教員) 当番活動を責任をもち行動することの指導。	5	88.1%			5	94.9%
	5	87.1%			5	88.9%
	5	90.3%			5	91.4%
	5	80.6%			5	88.6%
	4	79.2%			5	82.6%
総合的な評価					R5（前年度）	
	4.6 (4.5)				**5.0** (4.8)	

3　健やかな心身の育成について

	(生徒評価)		(保護者評価)		(教員評価)	
⑪ 先生は、生徒を理解しようとよく努めている。	4	79.4%	4	76.3%	5	100.0%
	5	80.7%	5	81.5%	5	94.4%
	5	81.1%	5	84.7%	5	97.1%
	4	73.6%	4	79.6%	5	100.0%
	4	75.4%	4	76.1%	5	92.1%
⑫ 先生は、生徒が部活動で有意義に過ごせるようにしている	4	78.5%	4	71.1%	5	82.9%
	5	81.5%	4	76.8%	5	80.6%
	5	82.2%	4	72.7%	5	84.2%
	5	89.1%	4	71.7%	5	80.0%
	5	86.3%	4	66.0%	5	84.2%
総合的な評価					R5（前年度）	
	4.0 (4.8)				**5.0** (5.0)	

4　安全な学校づくりについて

	(生徒評価)		(保護者評価)		(教員評価)	
⑬ 先生は、ＰＴＡや学校ボランティア等と協力して生徒の安全や事故防止などによく配慮している。	5	94.6%	4	72.1%	5	97.4%
	5	95.2%	4	78.6%	5	88.9%
	5	95.2%	4	78.4%	5	97.1%
	5	91.2%	4	74.6%	5	97.1%
	5	93.6%	4	76.4%	5	97.4%
⑭ 先生は、清掃などを通して教育環境整備に努めている。	5	87.7%	4	74.7%	5	97.6%
	5	88.3%	4	77.1%	5	91.7%
	5	91.0%	5	81.5%	5	100.0%
	5	85.6%	4	79.4%	5	94.3%
	5	81.4%	4	73.7%	5	94.7%
⑮ 先生は、生徒が安心して通うことができる学校づくりに力を注いでいる。	5	85.9%	5	84.2%	5	95.0%
	5	82.0%	5	80.1%	5	100.0%
	5	86.1%	5	87.0%	5	94.3%
	5	83.8%	5	83.8%	5	97.1%
	4	79.1%	4	79.6%	5	89.5%
⑯ 先生は、生徒が学校で体調が悪くなった時やけがをした時に、適切な対応をしている。	5	86.1%	5	86.8%	5	100%
	5	87.7%	5	85.2%	5	91.7%

	5 87.2%	5 88.7%	5 97.1%
	5 88.2%	5 86.6%	5 94.3%
	5 82.0%	5 86.4%	5 97.4%
総合的な評価			R5（前年度）
	4.8 (4.8)		**5.0** (5.0)

5　信頼される学校づくりについて

	（生徒評価）	（保護者評価）	（教員評価）
⑰ 先生は生徒が将来の進路や生き方(キャリア教育)について体験学習や情報提供をして指導している。	4 77.0%	4 70.5%	5 85.0%
	4 70.7%	4 69.7%	5 88.9%
	4 75.1%	4 70.1%	5 85.7%
	4 66.6%	4 66.8%	5 82.9%
	4 66.8%	4 64.2%	4 76.3%
⑱ 先生は、親の相談に適切に応じている。		4 76.3%	
		4 75.3%	
		4 74.3%	
		4 73.4%	
		4 77.9%	
⑲ 学校だよりや学年だよりなどで、学校のことがよく分かるように保護者に伝えている。		5 80.0%	
		5 79.7%	
		5 84.1%	
		5 81.4%	
		4 77.3%	
⑳ 学校は、授業参観や行事、懇談会など保護者が来校しやすい機会を適切に設けている。		5 90.5%	
		5 83.0%	
		4 79.7%	
		4 77.8%	
		5 85.9%	
㉑ (生徒) 地域行事に1つでも参加した。 (教員) 地域行事に参加することを指導した。	＊		2 37.5%
	＊		4 61.1%
	＊		＊
	＊		＊
	4 52.5%		3 55.2%
総合的な評価			R5（前年度）
	4.4 (4.4)		

昨年度と同じように生徒を対象にしたアンケート結果も参考にして、保護者の皆様に実施した。アンケート回収率は34.1%(４年度50.1%)である。令和3年度より紙面からWeb調査に変更。評価の基準は、「成果が現れた・あてはまる」と「どちらかというと成果が現れた・どちらかというとあてはまる」の合計を評価Ａとして、その割合(%)を基に、次のように５段階で示した。　　( )内は上から昨年度、一昨年度の順。

０～20%…１　20～40%…２　40～60%…３　60～80%…４　80～100%…５

※回答数値及びグラフは別紙

＜考　察＞

〇全体を見たとき、それぞれ微増・微減はみられるが４・５という比較的高い状態で推移していることが伺える。また、詳細情報からは1年から3年へと学年が上がるにつれて数値が上昇している項目が、17項目中10項目ある。交通ルールや時間意識、清掃や学習への取り組み方など3年間という長いスパンで見たとき、着実に集団として成長していることが伺える。

○「確かな学力の育成について」では、わかりやすい授業という点では向上している。ICTの活用も進み、「多文化共生」に向かい、だれもがわかりやすい、発表しやすい授業づくりや授業改善を進めてきた成果が現れてきていることがわかる。しかし、家庭学習については減少している。コロナ禍の際、普段あまり家庭学習のない教科も含め学びを保証する家庭学習の推進をしてきたが、2類から5類に変わり、できなかった学習活動が以前のようにできるようになったことが原因であると思われる。
○「安全な学校づくりについて」「信頼される学校づくりについて」では、物理的な安全確保に対する取り組みについて微増していたり、事後の取り組みや連絡、保護者への相談活動、学校や学校情報の公開などどれも微増していたりと評価をいただいている。一方で、「豊かな心の育成について」の項目では微減している項目が多い。思いやりの心や命、いじめや差別に関することは「これでよし」ということなくつねに丁寧に対応していく必要のある内容であることを改めて感じることができた。
○⑮学校を楽しいと感じる生徒については生徒、保護者共に４％前後上昇している。要因としては学校行事、生徒会活動が考えられる。学校行事・学級の課題解決・生徒会等すべて数値が上昇している。体育大会や文化祭など以前の取り組みに戻りつつあることに加え、体育大会の種目決めや校則の見直し活動など生徒が主体的に議論し、自分たちの考えを生かしていく場面が増えていることがあげられる。実際に変わっていくことで成果が目に見えるものなってきている点が生徒に実感としてとらえられていると思われる。

＜回答率について＞
　令和3年度からWEBアンケートに変更した。
87.5％（R2紙上）→65.6％（R3WEB）→50.1％（R4）→34.1％（R5）
回答率の減少が続いている。
昨年度の反省から、回答率の向上に向けて、
　①回答期間の短縮と締め切り直前再通知に実施
　②三言語対応の継続（日本語、ポルトガル語、英語）
を実施した。結果として、開始3日間で全回答の約60％、再通知後の最終日に全回答の30％という結果であり、考え方としては概ね間違っていなかったと考えている。但し、本年度アンケートを実施した時期に行政からの複数のアンケート調査が保護者に対して行われており、その中で埋没してしまった感があると考えている。当面、来年度は方針を継続し、他の調査と重複しないよう調整を図りながら実施していきたい。

生徒、保護者、教員にとって、「通いたくなる学校」「通わせたくなる学校」「勤めたくなる学校」となるように、学校評価アンケート結果を参考に改善をしていきたい。何より安全を第一にしながら、「本気で学ぶ生徒」「豊かな心を持つ生徒」「心と体を鍛えるたくましい生徒」の育成を目指して、創意ある教育を計画的に実施していきたい。

生徒の主体的な活動を支援し、自分たちの考えを生かした自分たちの学校という思いが持てるようにしてきたい。また情報や活躍の場面を公開する機会を増やし、思いを生徒・保護者・教員で共有できるよう工夫していきたい。

また、アンケートの結果から心の成長が常に大切な課題であることが明確になってきた。そこで本校の経営方針の一つである「多様性や共生を生かした人権教育、道徳教育、豊かな心の育成」を目指し、日々の教育活動を大切に行っていきたい。そこで、何事にも教職員が率先垂範し、生徒の姿を身近で見守り、成長を認めながら、生徒の自己肯定感が高まるよう支援をしていきたい。